



N E S 株式会社事業案内

当社の業務範疇を超えるご要望に対しても、専門家を招聘して対応させて頂いております。医療機器販社や薬事経験者などの実務的な専門家、医師・看護師・薬剤師・臨床工学技士ら医療の専門家など幅広いチャネルを持っています。日頃は『緩いアライアンス』と呼ぶ互いに支配しない関係の中で情報交換や意見交換を重ね、相互協力関係を築いています。

医療BCP

GOA(Goal-oriented Action, 目標志向活動)は医療BCPを策定する上で重要な考え方です。平時から診ていた患者を守る事から非常時対応が始まり、その手段を選んでられません。一時休業や操業停止は論外、生命を守るという目標に志向した活動をBCPにまとめます。

当社では計画策定と院内実装の両面からサポートしています。実務重視、実行できる計画策定ならびに実行力を身につける教育研修や環境整備をお手伝いします。

これまでに国公立病院、民間病院、訪問看護事業者など幅広い医療機関をサポートして参りました。解決策が見えない課題は独自に実験を行い提案する事もありました。

臨床経験がある医療従事者がコンサルティングするユニークなサービスです。

医工連携事業化推進

製品化と商品化、言葉は似ていても結果が違います。製造は内部で完結できますが商品として流通し続けるには販売者や消費者が必要です。私たちは『ニーズ志向』『マーケットイン』をキーワードに、事業化を見据えた医工連携をサポートしています。

当社は現場に強みがあります。真のニーズを捉え、製品コンセプトを磨き上げるには現場を知り評価を受ける事が重要です。医療と現場の境界を最適化し事業化を推進します。

医家を対象とした調査は多数実績があり、市場のトレンドや未来予想も行っています。仮説を立て、現任者を訊ねて調べ、独自にレポートします。医療産業と臨床の両実務経験の上に専門的な『医工連携の実務経験』が希少な人材が当社には居ます。

医療機器/設備安全管理

医療機器 (ME) 安全管理体制構築をゼロからサポートします。

病院での管理体制構築の実務経験者が貴院を担当します。200未満の病院、および診療所を得意とし、常勤の管理者を置かずとも適正な管理ができる体制をご提案いたします。

通年で定期訪問させて頂き簡易点検や記録簿整備などを実施させて頂き、普段は看護師様が無理のない範囲でできる作業をご提案する形が好評を頂いております。

機器カルテを作りアライバイ管理をする基本的な形から、非常時対応や安全対策を充実する攻めのME管理まで幅広く対応しています。停電対策は当社の柱となる研究課題であり、学会等での議論も重ね、実務に即した対応策をお届けしています。

N E S 株式会社 (エヌ・イー・エス)

所在地 兵庫県伊丹市野間5-10-13

URL <https://www.24med365.net>

メール info@24med365.net

創業 2015年4月 (法人番号140001097797)

代表者 西 謙一 (臨床工学技士・第1種電気工事士)

連絡先 090-7944-5536

許認可 自家用・一般用登録電気工事業者

兵庫県知事 第300333号

受注・受託(当社実績)

医療BCPコンサルティング業務(国立宇多野病院、大阪府立母子医療センター、民間病院、ほか)
医工連携コンサルティング業務(製薬、医療機器メーカー、モノづくり、ベンチャー企業、ほか)
AMED競争的資金提案書作成支援業務(医療機器メーカー) ※.6千万円×3年に採択
With/Afterコロナに向けた医療物資・医療機器ニーズ調査(経済産業省近畿経済産業局)
臨床ニーズ評価・コンセプト設計等支援業務(経済産業省中国経済産業局)
医療機器開発における試作品評価・コンセプト評価(大阪商工会議所、モノづくり企業、ほか)
遠隔診療周辺調査(社団法人)
医療サプライ周辺調査(モノづくり企業)
医療介護設備周辺調査(医療機器メーカー)
医療機器安全管理体制支援業務(民間病院)

当社代表(西謙一)の履歴

※.登壇回数は100回を超えています。社団法人の理事など社会活動も活発です。

医療BCP

医療的ケア児の患家BCP策定支援と療養住環境最適化(第34回日本臨床工学会BPA優秀演題賞受賞)
停電3日間で検証された療養住環境強靱化のための在宅医療BCP(第48回日本医療福祉設備学会一般演題)
医療BCP策定における人工呼吸器代替手段の最適化検討と評価法開発(第34回日本医工学治療学会一般演題)
災害時の医療業務継続～目標志向のマネジメントが救う命～(高知県臨床工学技士会)
物資枯渇改善に貢献するホスピタルエンジニアの目標志向活動(GOA)(第50回日本医療福祉設備学会セッション)
BCPの基本的な考え方-病院で働く者としての基礎知識-(国立病院機構宇多野病院)
臨床工学部門におけるBCPの策定(全国自治体病院協議会オンラインセミナー)
現状把握に基づく目標志向型の透析BCP(Osaka Southern Network)

医工連携

医療ニーズ発掘・医工連携推進と商品化による課題解消(経済産業省・全国医工連携支援機関ネットワーク会議)
医療に求められる商品を開発していくには～調査と分析に基づく事業戦略(メディカルデバイス産業振興協議会)
看護ニーズに基づく事業化のポイント-商品化で現場にお届け-(大阪商工会議所MDF看護・在宅医療分科会)
『ここまで来たCEの医療機器開発』アドバイザー・起業・専業・老後に向けての医工連携(第29回近畿臨床工学会)
医療分野への参入のカタチ-上市までの流れを学ぶ-(医療機器ビジネス参入のための人材育成プログラム)
医療機器・医療サービス産業へのマーケットインによる新規参入(しが医工連携ものづくりネットワーク会議)
傾聴と目利きで事業を分析するゲートキーパー(医の芽ネット第2回交流サロン@倉敷中央病院)
医療ニーズ発掘と商品化に求められるヒト・モノ・コト(メディカルジャパン 専門セミナー)

その他

IT素人がマネジメントする創造的医療DX(第34回日本臨床工学会ワークショップ)
臨床工学技士の新しい活躍の場(一般社団法人熊本県臨床工学技士会20周年記念式典基調講演)
はじめての機器管理と近未来への展望(第3回九州臨床工学会教育講演)
地方が国による地域選定を勝ち抜くためのIR(統合型リゾート)提案とは?(第10回日本IR創設サミットin泉佐野)
未来を託す技士を育てるために、負託に応える技士になるために(第21回近畿臨床工学会)

執筆等

特集『医工連携を実践するために必要なこと』ものづくり企業を知る事の重要性(クリニカルエンジニアリング第31巻第5号)
特集『ユーザーからみた良いトリセツ・悪いトリセツ』ユーザフレンドリーな取扱説明書を!(クリニカルエンジニアリング第23巻第11号)
医療機器管理ソフトの現状と標準化の必要性(医科器械学第77巻第7号)
医療システムと自動認識/医療機器情報管理の開発と普及促進活動(月刊自動認識6月号)
減塩・循環器病予防プロジェクト(循環器病研究の進歩「東日本大震災」特別号)

略歴

1975年1月生れ。埼玉県立越谷総合技術高校電子機械科卒業後は電気工事士として建設現場。1997年独立開業。
1999年に交通事故、手術。異業種転向し広島国際大学臨床工学科に入学、卒業後は臨床工学技士として臨床従事。
独自開発の医療機器安全管理システム(CEME)はトップシェア。国立循環器病研究センターでは医工連携専従、かるしおレシピ事業を考案・推進。その後はシップヘルスケアホールディングスで新規事業開発部長、2017年より現職。